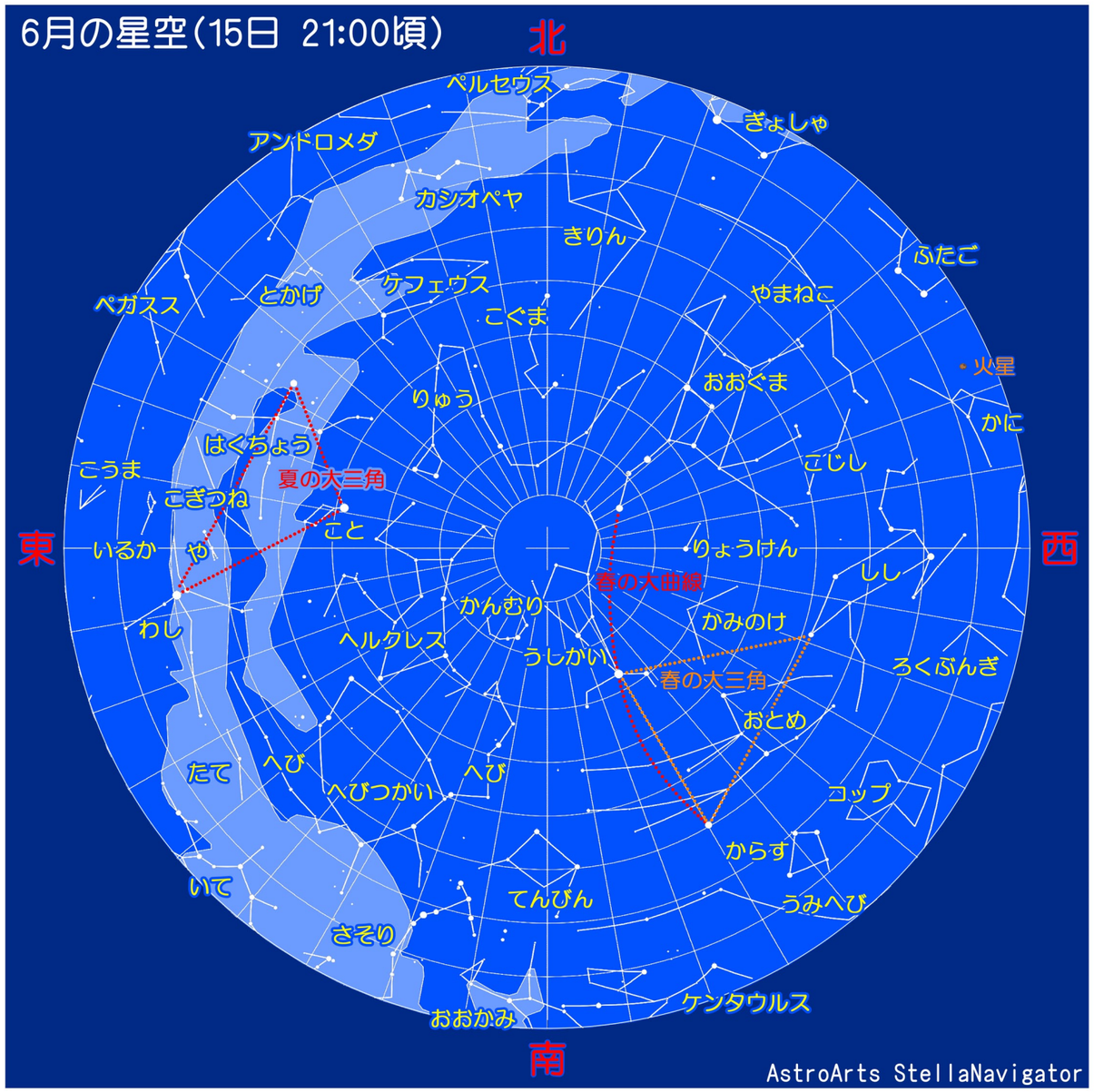
銀河の森天文台
2021年6月みどころ天体情報



今月のイチオシ！

☆M13（球状星団）

北天で最も明るい球状星団です。ヘルクレス座の右腰の星（ζ星）と右足の付け根の星（η星）の間に位置していて、双眼鏡でも簡単に見つけることができます。数十万個もの星々が集まっていて、望遠鏡では中心部まで星が密集した様子や、枝のような星の並びを観察することができ、とても見事です。

1974年には地球外生命探査として、プエルトリコのアレシボ電波望遠鏡からM13に向けてメッセージが送られました。

距離：約2万5100光年

M13

月

		出	没
2日	◑ 下弦	00:10	10:43
10日	● 新月	03:19	19:03
18日	◑ 上弦	11:08	--:--
25日	○ 満月	19:56	03:42

天文台から月を見ることができるのは13～25日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M51（銀河）

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河（NGC5195）を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。

月明りのない夜には2つの銀河が実際につながっている様子を見ることができます。

距離：約2100万光年

M3（球状星団）

明るい見事な球状星団でうしかい座のアルクトゥールスとりょうけん座のコル・カロリの中間あたりに位置しています。密集度が高いために、双眼鏡では恒星と区別がつきにくいかもしれません。

距離：約3万3900光年

M5（球状星団）

へび座（頭）に位置する、北天を代表する明るい球状星団です。周囲に明るい星が無いので少々見つけにくいかもしれません。同じく北天を代表する球状星団のM13やM3と見比べるのも面白いでしょう。

距離：約2万4500光年

M57（惑星状星雲）

こと座に位置する惑星状星雲で、リング状星雲、ドーナツ星雲などと呼ばれるように環の形に見える星雲です。

これは、恒星が一生を終えようとするときに放出したガスが光っているものです。

距離：約2600光年

NGC6543（惑星状星雲）

りゅう座に位置する惑星状星雲でキャッツアイ星雲と呼ばれています。

非常に複雑な構造をしている星雲で、望遠鏡でその構造の一部を見ることができます。

距離：約3600光年

コル・カロリ（重星）

りょうけん座を形作る2つの星のうち、明るい方がコル・カロリです。春のダイヤモンドの一番北に位置する星でもあります。

白色の2.9等星のそばに薄紫色の5.5等星が寄り添った美しい二重星です。

距離：約120光年

ちょっとマニア
・ズベンエルアクラビ（恒星）

てんびん座のβ星で、緑色に見えると言われています。しかし通常緑色の恒星は無いはずで、実際の色は青白とされています。皆さんには何色に見えるでしょうか？

距離：約185光年

その他おすすめ

- M12（球状星団）
- M82（銀河）
- M92（球状星団）
- アルクトゥールス（恒星）
- ラスアルゲティ（重星）
- プルケリマ（重星）

6・7月の銀河の森天文台カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日